



株式会社IC

(東証スタンダード：4769)

2023年12月1日

2023年9月期 決算説明資料

(2022年10月1日～2023年9月30日)

Agenda

1. 会社概要・事業概要
2. 2023年9月期 連結決算内容
3. トピックス
4. 中期経営計画進捗状況
5. 2024年9月期 連結業績予想

設立	1978年2月20日
資本金	4億7百万円（2023年9月末現在）
発行済株式総数	7,732千株（2023年9月末現在）
決算期	9月
代表者	代表取締役社長 齋藤 良二 代表取締役副社長 三澤 昇平
従業員数	744名（2023年9月末現在）
業種	情報サービス業 （1）ITソリューション （2）ITサービス
証券コード	4769 東証スタンダード
株式売買単位	100株単位

ITソリューション事業

ITシステム導入における業務をトータルサポート

ソフトウェアソリューション

ソフトウェアの
設計・開発・運用



基幹系



WEB系



組込み系

& more

セグメント売上

38.8億円

インフラソリューション

ITインフラの
設計・構築・運用



サーバ



クラウド



ネットワーク



ストレージ

& more

セグメント売上

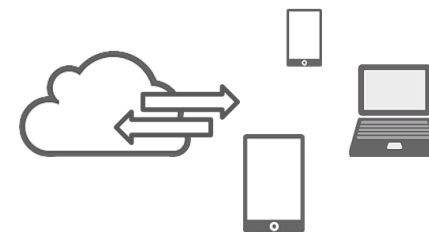
44.4億円

ITサービス事業

幅広い業界に向けた
独自サービスの
開発・販売・提供

チケット関連サービス

聴覚障害者
支援アプリケーション



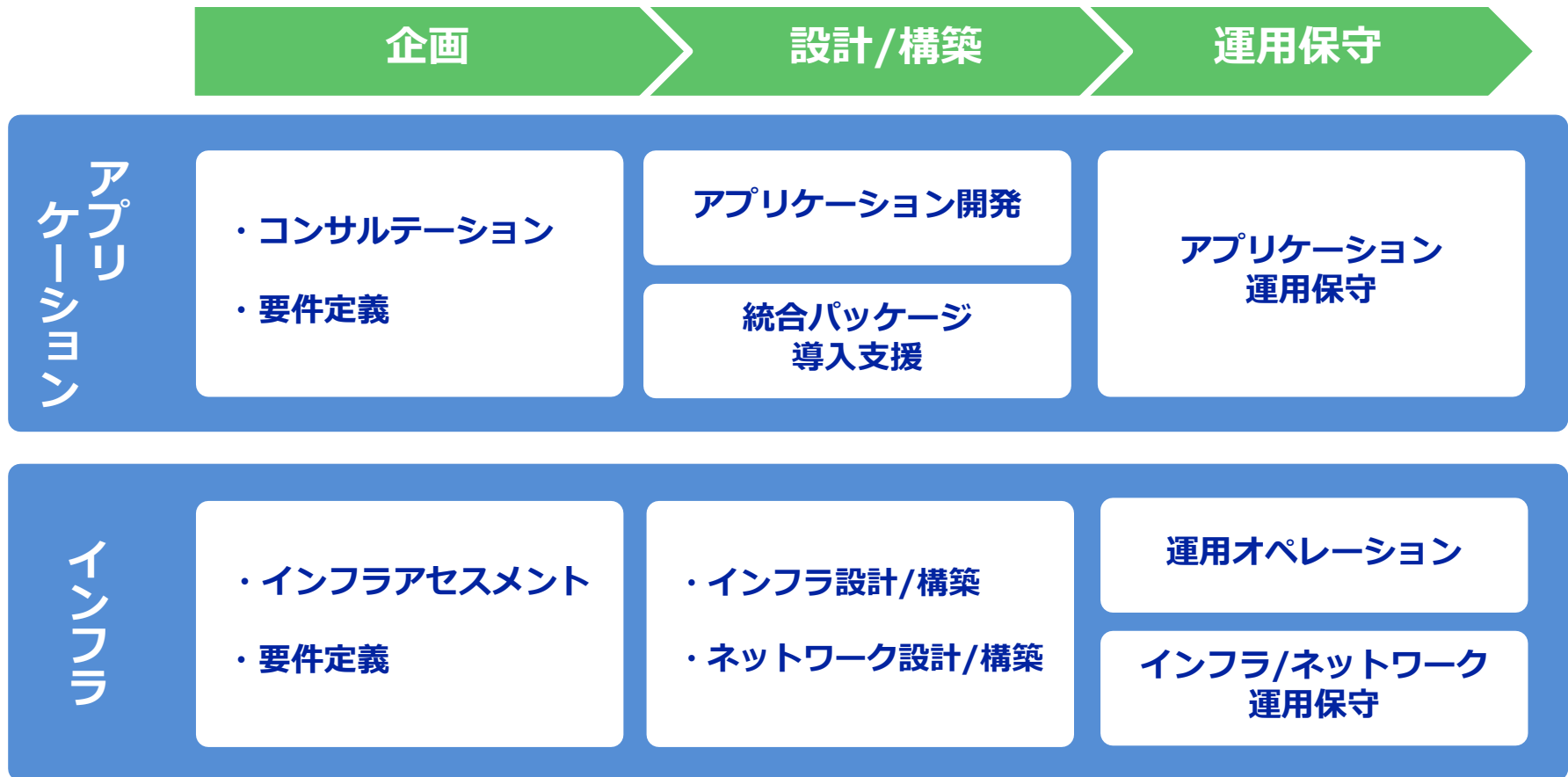
セグメント売上

2.3億円

※本頁記載の数値は2023年9月期実績

システム導入におけるすべての行程をカバー、お客様のニーズに合わせた最適なサービスを提供

【ITソリューションのサービス範囲】



各業界のニーズに合わせた独自サービスの開発・販売・提供



LINEと連携したPR、チケット販売、顧客・来場者管理をクラウド上で一元化。LINEで出来る座席指定型チケット販売管理サービス



音声認識技術や音声合成技術を活用することにより、聴覚障害者が街中で健聴者と会話をするときスムーズなコミュニケーションを支援するアプリケーション ※1

「こえとら」は、2023年9月現在、総務省のご協力及び通信事業者6社((順不同)：株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、楽天モバイル株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社)の協賛により、株式会社フィートがサービスを提供しています



企業や自治体・省庁等のほか、事務所や店舗などに設置することで、聴覚障害者との自然で円滑なコミュニケーションを支援するアプリケーション ※2 ※3

※1 「こえとら」の知的財産権は国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)に帰属します

※2 「SpeechCanvas」は国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の登録商標です

※3 「SpeechCanvas for Biz」は法人向けです

新規 I Tサービスの提供開始

2023年10月リリース



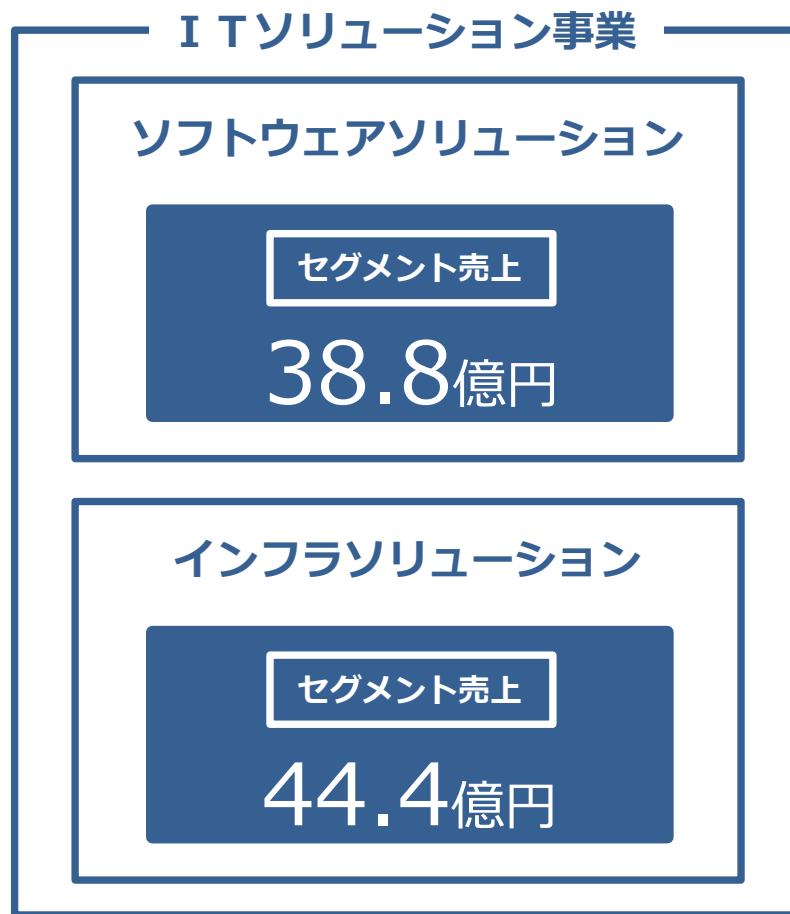
美術館・動物園・温泉施設・スポーツジムといった施設やイベントの入場管理に特化したLINEで出来る入場管理型チケット販売管理サービス

2023年11月リリース

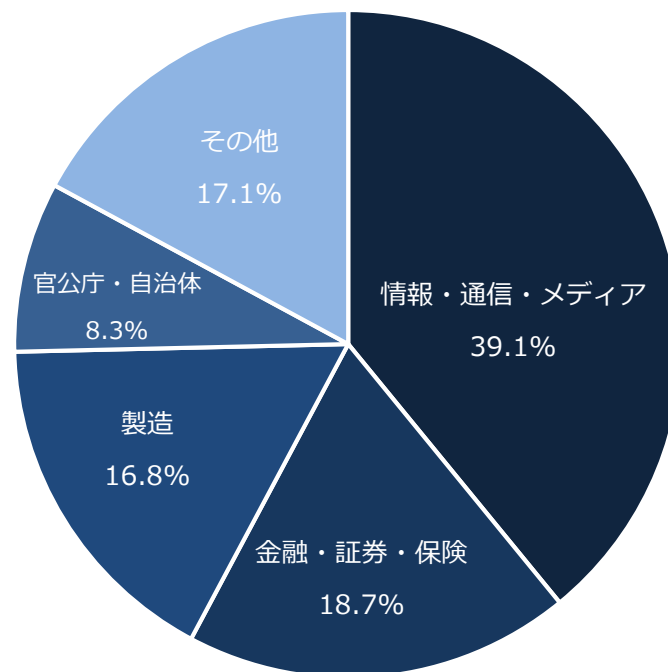


選手の育成プログラムをスマホ・PCで管理可能なデジタルツール
IDP(Individual Development Plan)を用いたシステム管理により
選手一人ひとりに合わせた育成プランを考案できることが強み

バランスのとれた2本柱によるITソリューション事業
幅広い業種に対してITシステム導入におけるトータルサポート

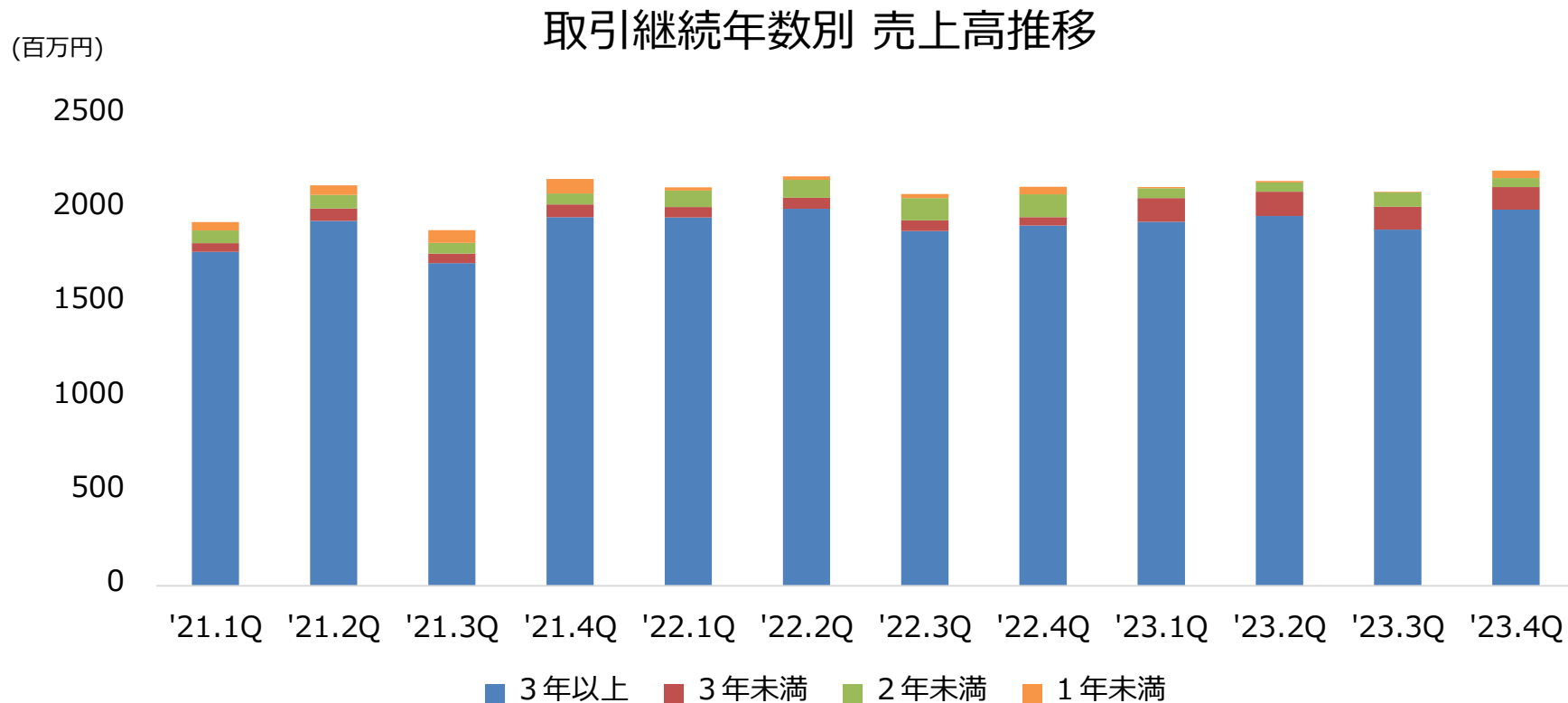


約4割が成長分野である
「情報・通信・メディア」



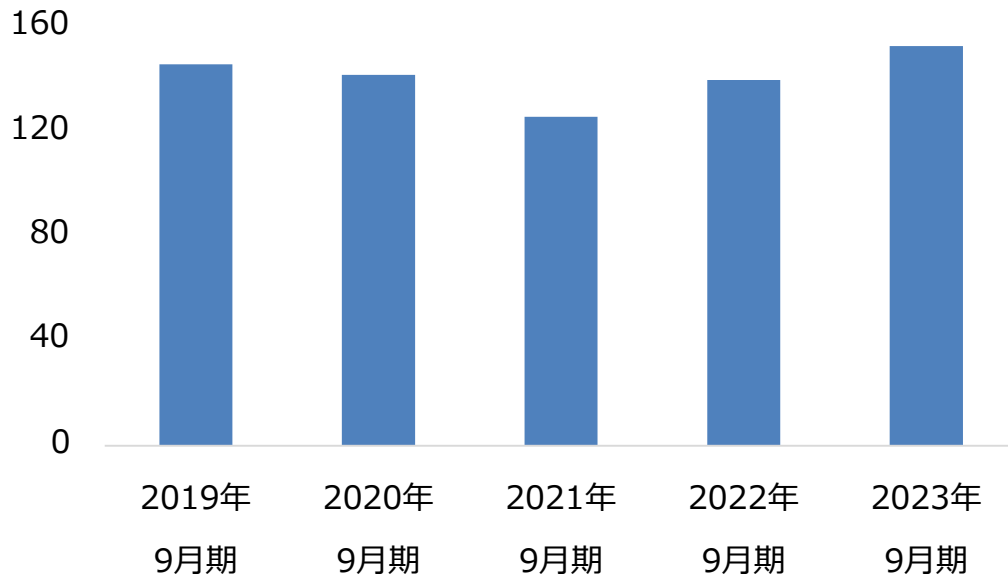
2023年9月期 通期実績

顧客からの高い信頼に基づくリピート率
取引継続年数3年以上の顧客による安定した収益基盤



100を超えるパートナー様との協業により
安定した受注体制を実現

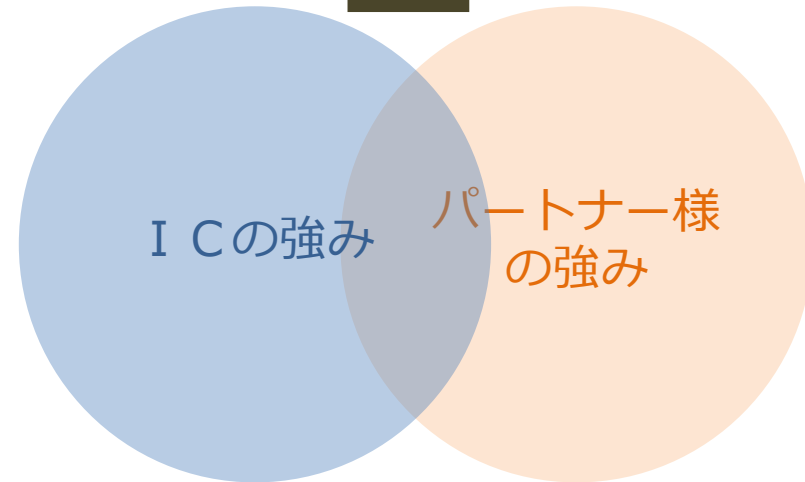
パートナー数の推移



幅広い案件対応能力

豊富な人的リソース

案件の取りこぼし回避



Agenda

1. 会社概要・事業概要
2. 2023年9月期 連結決算内容
3. トピックス
4. 中期経営計画進捗状況
5. 2024年9月期 連結業績予想

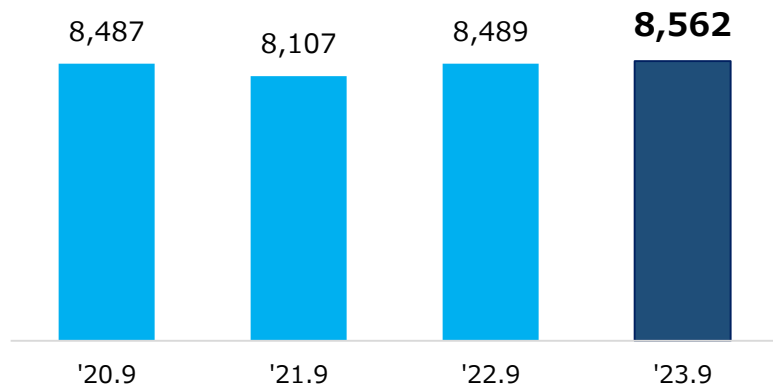
- ✓ 売上高は前年同期比増
- ✓ 各段階利益は中期経営計画に基づく成長投資により前年同期比減

(百万円)

	2022年9月期 実績	2023年9月期 業績予想	2023年9月期 実績	前年同期比		予想比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	8,489	8,581	8,562	73	+0.9%	▲19	▲0.2%
営業利益	633	329	404	▲228	▲36.1%	74	+22.7%
経常利益	711	342	476	▲234	▲33.0%	133	+38.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	526	206	372	▲155	▲29.3%	165	+80.3%

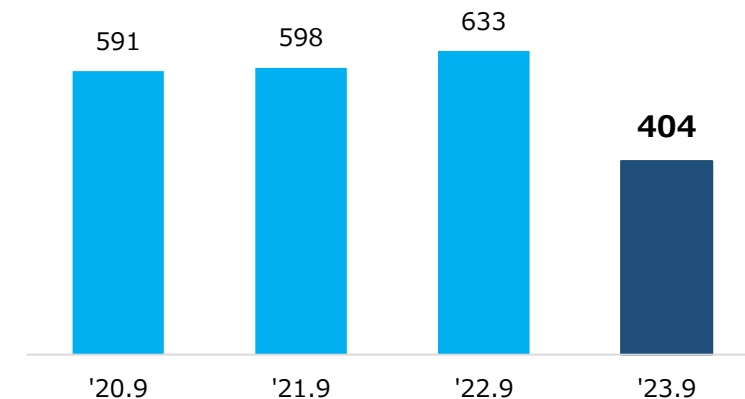
売上高

(百万円)



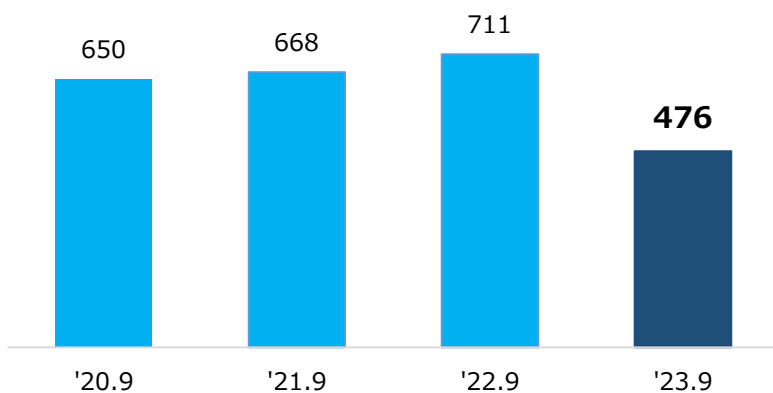
営業利益

(百万円)



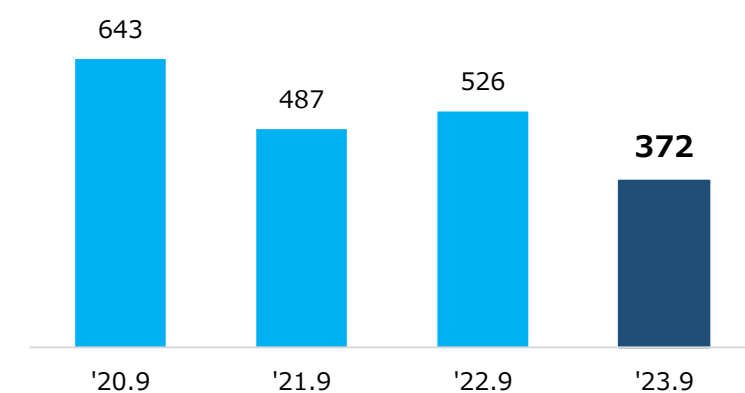
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

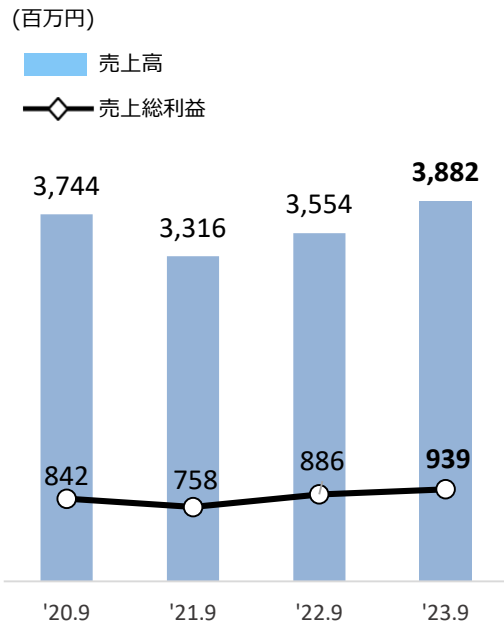
(百万円)



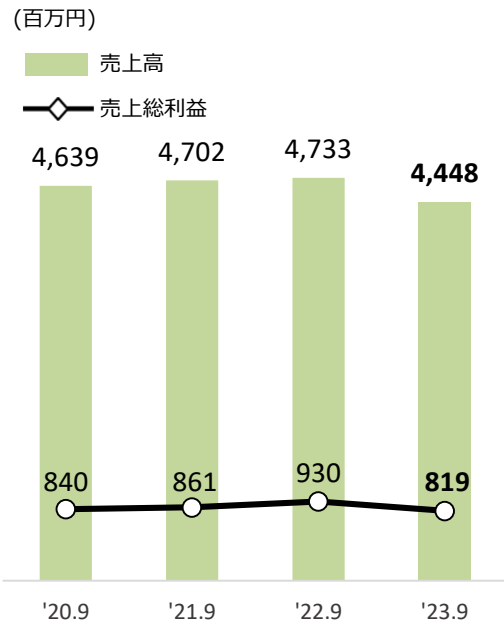
- ✓ 組織変更によりインフラソリューションの売上の一部がソフトウェアソリューションへ移動。ITソリューション事業全体としては、長期ビジョン達成に向けた体制整備の実施により増収減益
- ✓ チケット販売管理システムや多言語音声翻訳サービスの売上が増加したことにより増収増益

ITソリューション事業

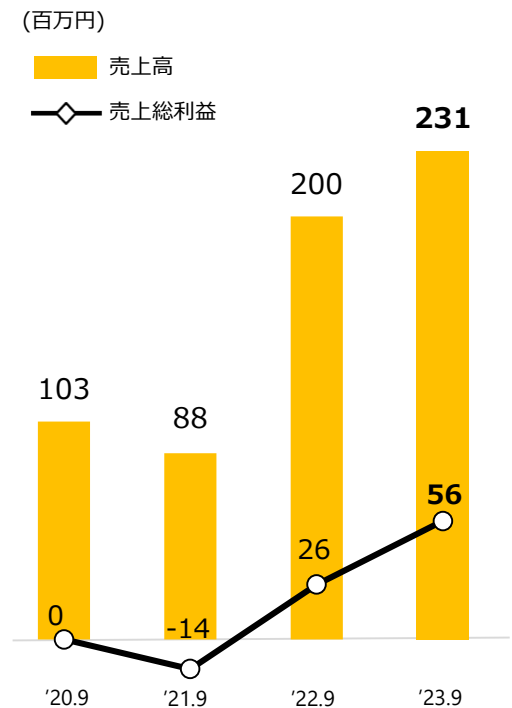
ソフトウェアソリューション



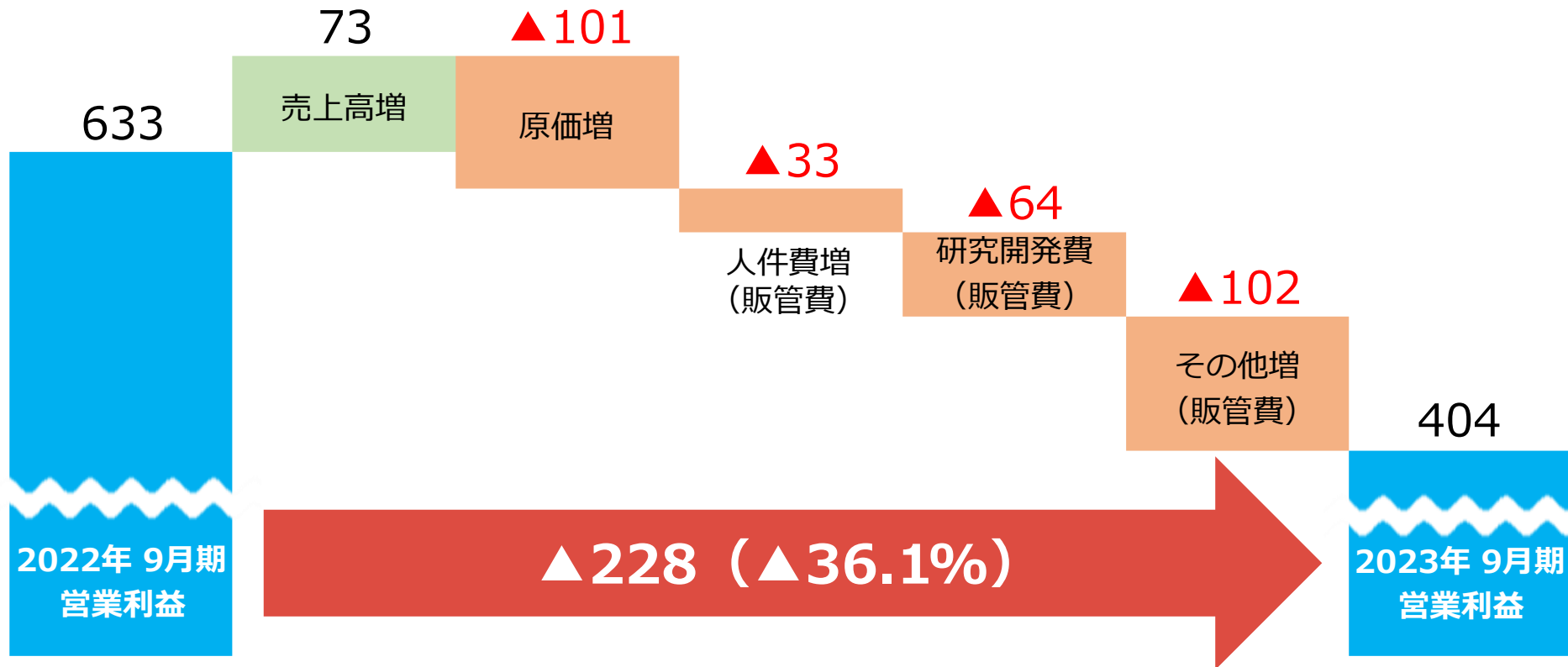
インフラソリューション



ITサービス事業



(百万円)



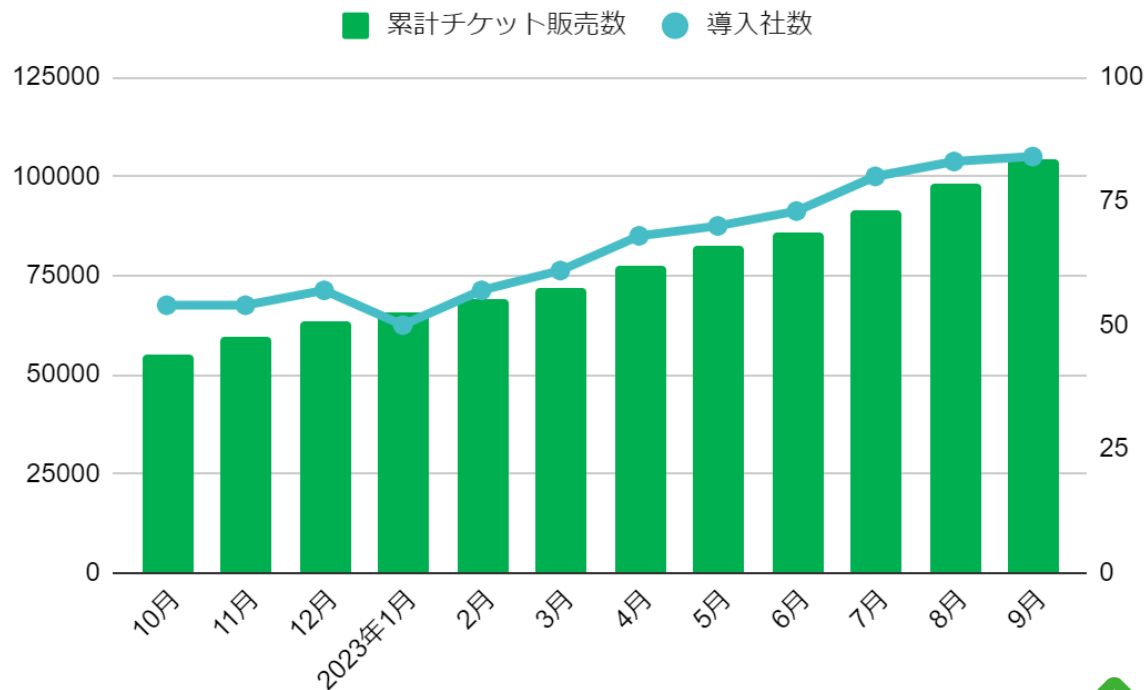
Agenda

1. 会社概要・事業概要
2. 2023年9月期 連結決算内容
3. **トピックス**
4. 中期経営計画進捗状況
5. 2024年9月期 連結業績予想

累計チケット販売数 10万枚超え、導入施設も順調に拡大中

チケット for LINE Hybrid

累計導入施設数も堅調に推移



Point

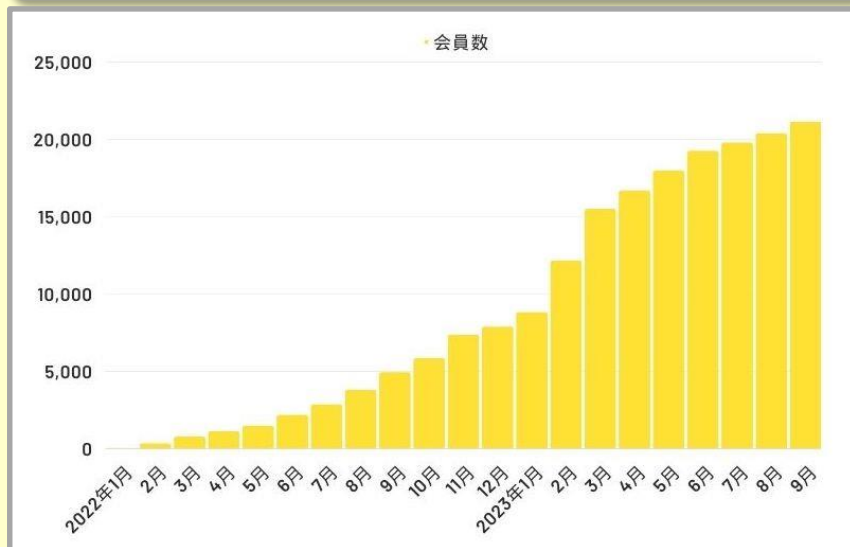
LTV向上に向けて様々な施策を遂行中



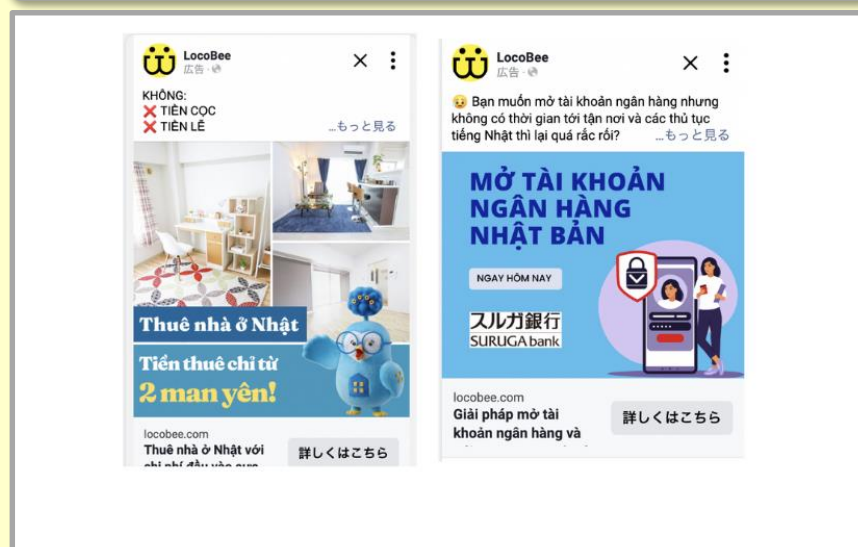
チケット for LINE
Hybrid

訪日のみならず在留ベトナム人向け施策を展開、サービスの認知拡大

会員数の推移



在留ベトナム人向け施策



- LocoBeeマガジン会員数が2万人を突破
- 日本語学習やクーポンなどのコンテンツの拡大

- 衣・食・住・遊など生活インフラを充実するための広告施策を展開、在留ベトナム人生活をサポート

NEXT

旅行代理店に加え広告代理店やベトナム現地法人との連携拡大

Loco:Bee

Agenda

1. 会社概要・事業概要
2. 2023年9月期 連結決算内容
3. トピックス
4. 中期経営計画進捗状況
5. 2024年9月期 連結業績予想

新規ITサービスの創出に向けた取り組み

- 『HINORI』の事業化
- 『iDEP』の事業化
- 研究開発体制の強化
- 営業機能の強化

企画提案型ソリューションの確立に向けた取り組み

- 建設会社向けDX推進支援サービス始動
- ITコンサルティング推進体制の確立
- 受託開発体制の強化

価値創造型人材の育成に向けた取り組み

- DX人材育成強化
- 次世代マネジメント層育成開始
- プロジェクト・マネジメント人材育成強化

座席予約のないイベントの要望に応える形でチケットシリーズの新たなサービスを展開

らくらく入場サービス HINORI

座席なし施設予約サービスの展開も加速

会員登録不要

LINEでカンタン
チケット販売

初期導入費

0円

月額固定費

0円

専用機器

不要



らくらく入場サービス
HINORI

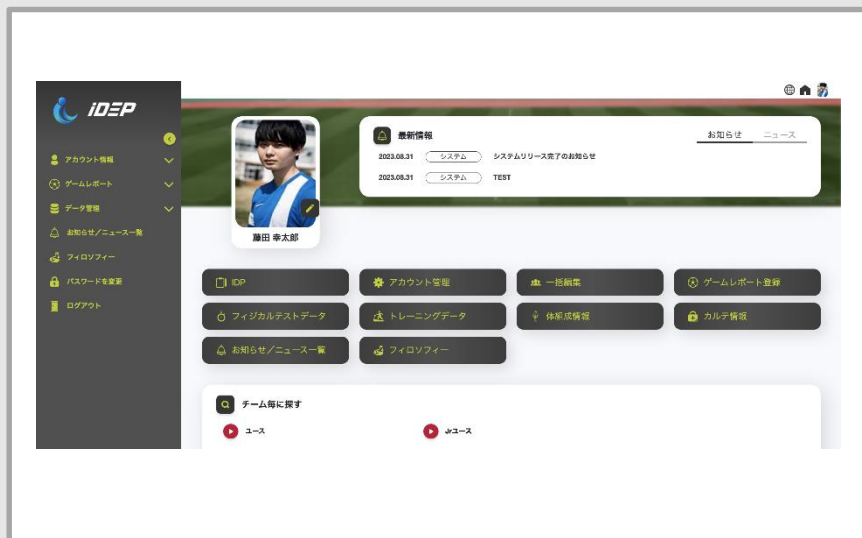
Point

温浴施設、フィットネスクラブ、美術館、プロジェクトマッピングなど多種多様な施設・事業社が導入

らくらく入場サービス
HINORI

サッカー選手に特化したタレントマネジメントシステムをリリース

選手の可能性を無限に広げる、個別育成計画作成支援を実施



・ 横浜F・マリノスアカデミーに初導入、
全国のサッカークラブに展開中

・ 導入実績や活用事例などのコンテンツを
展開予定

NEXT

育成世代の課題をITを用いて解決するサービスの拡大



独自技術を用いた新サービスの研究開発を継続中

負担の少ない“新しい見守りのかたち”の実現へ

- ① 要介護者の環境データを収集しAIが解析
- ② これから起こる事象を「予知」
- ③ 介護者のストレスを解消
- ④ 「音」による要介護者の自立支援



- ・ 2023年9月 日本音響学会での研究成果報告
- ・ 2024年 自治体との実証実験実施

※特許出願中

NEXT

サービス化に向けたフィジビリティスタディの実行

■ 建設会社へのDX推進支援サービス始動

長期ビジョン「VISION 2031」にて打ち出した
企画提案型ソリューションの一つとして、
2023年4月より建設会社の業務改善に着手。



問題点（課題）
の把握

原因の特定

I Tを活用した
解決策の立案

解決策の実行

今後も幅広い業界・業種に向けて、お客様の抱える潜在的課題の抽出・解決
までをワンストップで行う『企画提案型ソリューション』を提供していきます

Agenda

1. 会社概要・事業概要
2. 2023年9月期 連結決算内容
3. トピックス
4. 中期経営計画進捗状況
5. 2024年9月期 連結業績予想

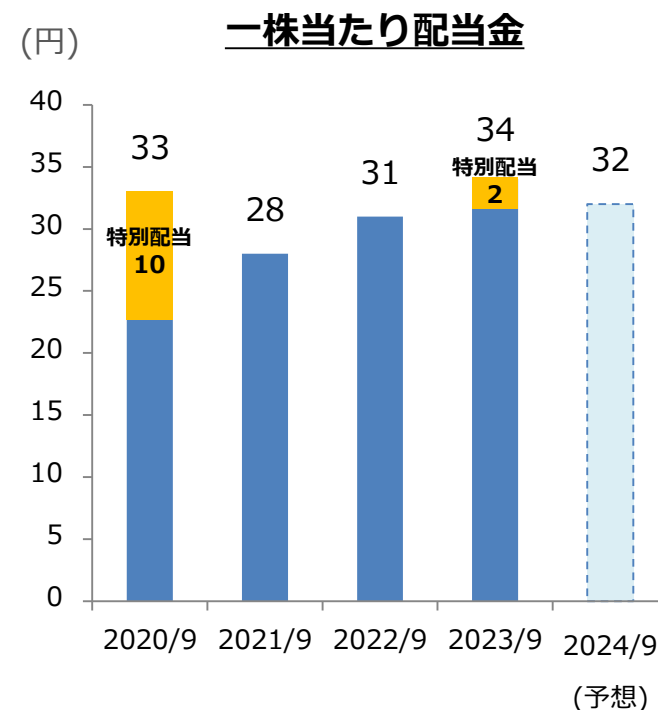
当期に引き続き積極的な事業投資、人材投資を実施

(百万円)

	2023年9月期 実績	2024年9月期 業績予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	8,562	9,023	+461	+5.4%
営業利益	404	421	+16	+4.1%
経常利益	476	501	+25	+5.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	372	299	▲72	▲19.6%

- ✓ 2023年9月期の配当は、当初予想31円に普通配当1円、特別配当2円を加えた一株当たり「34円」を予定
- ✓ 2024年9月期の配当予想は、普通配当「32円」を予定

	2023年9月期	2024年9月期 予想
一株当たり年間配当金	34円	32円
配当性向	69.3%	81.1%



本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの基準と異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

また、本資料に記載される情報に関して、これに誤りがあった場合や第三者によるデータの改竄等によって生じた障害に関し、事由の如何を問わず弊社は一切の責任を負うものではありません。

それらリスクや不確実性には、弊社に関連する業界ならびに市場の状況や、国内及び国際的な経済状況及び一般的な市場環境等の要因が含まれます。今後、新しい情報や将来の出来事等が起こった場合であっても、弊社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正等をおこなう義務を負うものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社 IC
経営企画室

電話 03-4335-8188

FAX 03-4335-8196

Email investor-relation@ic-net.co.jp



株式会社IC

Be the best partner.

ITで感動社会へナビゲート